

「学力向上ポートフォリオ(中学校版)」

学力向上目標

- 全ての生徒に対して、
- 基礎的・基本的な知識及び技能の習得。
 - ・当該学年で学習する漢字の読み書き、計算式、英単語の読み書き、重要語句等を習得できる。(自校のチャレンジカップ5科の平均点を70%以上にする。)
 - 思考力、判断力、表現力等の育成。
 - ・令和3年度全国学力・学習状況調査「国語」「数学」の「思考・判断・表現」に関する調査において、平成31年度の結果より自校の平均正答率を3pt向上させる。
 - 主体的に学習に取り組む態度の涵養。
 - ・令和3年度さいたま市学習状況調査「生活習慣に関する調査」における「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。」の質問に「肯定的な回答」をする生徒の割合を、全学年で令和2年度の自校の値より3pt向上させる。

具体的な手立て

- ①チャレンジノート(家庭学習ノート)を活用した家庭学習の実績をグラフに示して可視化し、チャレンジカップ(一問一答基礎テスト)成績優秀者の表彰を通じて達成感や成就感を向上させ、自主的な家庭学習のきっかけづくりを行う。
- ②各教科のエバンジェリストを中心として、授業におけるICT(ムーブノート・ドリルパーク等)を積極的に活用し、自校での「教育DX」を推進する。
- ③「よい授業アンケート」における「授業マネジメント」と「基礎アップ」を意識した、管理職を指導者とする校内授業研究会を実施し、基礎学力定着に向けた授業の工夫改善を行う。
- ④「大谷口中 授業がわかる 3つの約束」を全教室・特別教室に掲示し、学びに向かう力や授業規律を生徒・教職員がいつでも意識できる工夫を行う。

結果

今年度の振り返り・次年度に向けて

授業がわかる 3つの約束



準備・着席 チヤム前